

もう解けた？

図書委員 presents★ 館内謎とき企画



出題者たちからのコメント

簡単すぎたかもしれません。解き終わった人の全員が90パーセント以上正解していました。まだ参加していない人も、まだ間に合います。全問正解目指して頑張ってください。(H)

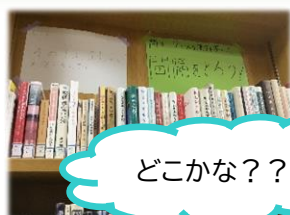
心理的にも、物理的にも、隠し場所に自信があります。さがせ！この世のすべてをおいてきた！(N&H)

楽しんで解いてくれたらうれしいです。(F)

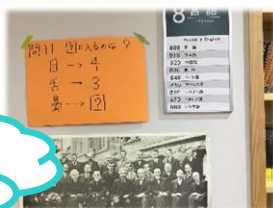
図書館内で開催中の謎とき。皆さんはもうすべて解けましたか？

謎は全部で20問ありますよ！

「問題が見つからない…」という人、
「答えがわからない！」という人、
解答提出のめ切は **12月11日** です。正解が多い人の中から抽選でプレゼントがあります。最後まであきらめずに、あなたもチャレンジ！



どこかな？



こんなところにも！

イベント・ 展示案内



“フィンランドって
どんな国？”



「著者と語る講演会」
長谷川真理子さんコーナー

COMING SOON!

「世界エイズデー」パネル展示

鳥取県高等学校

ビブリオバトル2020

日時：2020年12月13日(日)

13時開始(受付12:30)

場所：倉吉体育文化会館
(倉吉山根 529-2)

本校からも学校代表生徒1名が参加予定です。みなさん、応援してくださいね！



坪田 淳也 先生（情報科、1-2 副担任） より

『人工知能はどのようにして「名人」を超えたのか？』

最強の将棋AIポナンザの開発者が教える

機械学習・深層学習・強化学習の本質』

山本一成//著（ダイヤモンド社、2017 年）

人工知能は
どのように
して「名人」
を超えたの
か？ 山本一成

将棋・囲碁が題材ですが、今後の人間と人工知能との関わり方を暗示しているように思われます。人工知能の得意分野である情報収集、計算、最適解の選択では、人間は人工知能にはもう勝てないでしょう。囲碁や将棋の世界では、それが顕著に表れています。しかし棋士達はあきらめない。負けによって得たものは……。

12月23日（水） 山本一成氏による「ハイレベル講座」を実施します！

新着図書
ピックアップ



『盤上に君はもういない』

綾崎隼／著(KADOKAWA)
諏訪飛鳥と千桜夕妃。初の女性棋士となるため、奨励会三段リーグの突破を目指して戦う二人の女性を描いた物語。ドラマチックな展開で、将棋がわからなくても楽しめます。



『「意思決定」の科学』

川越敏司／著（講談社）

人は何かを決めるとき、どうやって決めているのだろうか？

「意思決定理論」について、代表的な理論のエッセンスを紹介しながら、選好の測定の仕方について丁寧かつ詳細に説明。



『未来をつくる言葉』

ドミニク・チェン／著
（新潮社）

いま注目の情報学者が自伝的スタイルで語る哲学エッセイ。言葉とは、人と人との関係性とは。第3回八重洲本大賞受賞作。



『リアルサイズ古生物図鑑 新生代編』

土屋健／著（技術評論社）

古生物を現代のさまざまな風景に配置してみる人気シリーズ。今回はついに哺乳類が登場です。

『扇物語』

西尾維新／著（講談社）



物語シリーズ26作目、モンスターシーズン4巻目。今回のテーマは「謝罪」。

『僕らが生きているよのなかのしくみは「法」でわかる』 遠藤研一郎／著（大和書房）



「SNS にウソの投稿をしたらどうなる？」「落とし物は誰のもの？」身近な学校生活で起きる問題から考える法学入門。

『マスカレード・ナイト』

東野圭吾／著（集英社）



新田浩介 & 山岸尚美のコンビ再び！ ホテル・コルシア東京を舞台にしたミステリシリーズ、最新作。

『なんで僕に聞くんだろう。』

幡野広志／著（幻冬舎）



がん宣告を受けた写真家である著者が、インターネット上で寄せられた人生相談へ回答。

新着図書の一覧は、校内からは蔵書検索のページから見られます。

学校外からは鳥取西高公式ホームページの図書館のページからご覧ください。

URL=https://cmsweb2.torikyo.ed.jp/toriw-h/index.php?page_id=43

